



井上ノエミ プロフィール

南米ボリビアで生まれ、大学卒業後
エコノミストとしてボリビア中央銀行、国連事務所勤務。
ニューヨークで井上和雄（元衆議院議員）と結婚。16年
前に来日。
平成23年4月に墨田区議会議員に初当選（1期目）
みんなの党所属
平成22年日本に帰化し日本国籍を取得。
平成21年南米諸国との交流を促進するNPO法人「日本ラ
テンアメリカ友好協会」を墨田区に設立し、理事長就任。
墨田区石原在住11年間。
家族は、夫井上和雄（元衆議院議員）、長女（15歳）
ペットのリリー（トイプードル）
趣味：ラテンダンス

ブログ：みんなの党 井上ノエミ

☎ 03-3624-6534

✉ inouenoemi@gmail.com

👤 井上ノエミ

📘 Noemi Inoue

墨田区議会所属委員会等

- 区民文教委員会（常任委員会）
- 新タワー観光対策特別委員会
- 墨田区社会福祉事業団評議員
- 墨田区議会国際親善議員連盟副幹事長

私のアジェンダ

- 安心して暮らせるスミダ!!
- 未来を育むスミダ!!
- 福祉のスミダ!!
- 国際観光都市スミダ!!

しもむら緑幹事長のご挨拶

墨田区議会の第1回定例会の予算特別委員会で、井上ノエミ議員が平成24年度墨田区予算（一般会計及び特別会計）についての質問を行いました。本会派報においては、予算特別委員会の質疑についてご報告します。

墨田区議会議員 井上ノエミからのご挨拶

今年の第1回定例会において、予算特別委員会の委員として7日間をわたって連日質疑を行いました。危機的な状況にある墨田区の財政状態を改善するための行政改革の徹底や、放射能の問題、給食の放射能検査、環境対策、交通事故対策、柔道授業の安全対策、児童虐待、北斎会館の建設問題など区政の様々な分野について質問と提言をしました。この会派報では、今回の私の質問内容をご報告させていただきます。区議会議員として、区民の皆様生命・健康・財産を守るために、今後も全力でがんばってまいりますので、よろしくお願いいたします。



予算特別委員会（平成24年3月1日）

墨田区の財政状況と行財政改革について

墨田区の財政状況は、23区の中で22番目と悪い方から2番目です。人件費等の経常経費や無駄な公共事業の削減により、一刻も早く財政状況を改善しなければなりません。このままでは、いつ起こるかもしれない大震災の対策や、福祉・教育・介護などの大事な住民サービスが維持できなくなります。井上ノエミ議員は、墨田区の財政状況改善に対して、より一層の経費の削減を求めました。

(井上ノエミ) 自治体の財政状況を示すためには、経常収支比率が使われるが、墨田区の経常収支比率は東京23区の中では悪い方から何番目になるのか。もっともっと一般経費を削減すべきであるが、職員数は減っているのに、職員研修費や厚生費が来年度予算では増えているのはおかしくないか。なぜ予算が増えているのか。また、年間1700万円も経費がかかっている職員用の葉山荘（保養所）も廃止して経費を節約するべきであるがどうか。

(墨田区答弁) 経常収支比率は、自治体の財源の内、人件費、生活保護費、公債費（借金の返済金）などの経常的な経費がしめる割合を示すもので、その比率が高いほど財政が硬直化して望ましくない。家計でみれば、収入に対して家賃、食費、ローンの支払いなどが占める割合を示す。墨田区は、平成22年度で93.2%で、23区の中では目黒区の次に悪く、悪い方から2番目である。平成27年度までには、人件費の削減などにより80から85%を目標としている。職員研修費はマナーアップキャンペーンを実施するためと窓口診断をするためです。また、職員住宅の補修工事のために職員厚生費が増額となった。葉山荘については、職員互助会と協議して今後の対応を検討していきたい。

墨田区議会 本会議

予算特別委員会 (平成24年3月2日&5日)

放射能汚染に対する対策、給食の安全性確保について東日本大震災から1年経ちましたが、福島原発問題はまだまだ続いています。放射能汚染、特に食品の汚染は内部被曝の可能性もありたいへん心配です。子どもたちが毎日食べる学校給食の安全性を確保するために、墨田区でも学校給食の放射性物質の検査を実施しますが、それだけでは十分な対策とはいえないと井上ノエミ議員は訴えました。

(井上ノエミ) もうすぐ東日本大震災から1年になるが、今も区民の皆様は放射能汚染についてたいへん心配している。今回の予算で放射能測定器を買って区民に貸し出すが、何台買って、どのような手続きで貸し出すのか。

(墨田区答弁) 10台購入して、区民あるいは区内にある事業所がある事業者に無料で貸し出す予定。貸し出し期間は1日で、本人確認と住所の確認をする予定である。

(井上ノエミ) 区民は放射能の内部被曝にたいへん心配している。今回の予算では、学校給食の放射能汚染を検査するための機器を購入して、出来た給食を検査する。給食で使う食材については、生産地の自治体がサンプル検査をしているが、検査体制が整っていないこともあり、生産地の自治体が100%食品の安全性を保障するのむずかしいと思う。早野龍五東大教授は、給食の丸ごと検査と汚染度の高い食材のサンプル検査を組み合わせるのが、もっとも効率がよいと指摘している。神奈川県横須賀市や海老名市では、両方の検査をやっている。墨田区でも給食に使用する食材を検査すべきだと考えるが、なぜ、食材を検査しないのか。

(墨田区答弁) 保育所、小中学校の給食については、流通している食品は安全だということでこれまでやってきたが、4月から新たな食品の放射能の基準が適応されるので、保護者の不安の解消と安全確保のために、月1回、給食を測定することにした。東京都も、食材に関しては、買い上げ検査を実施しているのので、その検査結果や生産地の検査結果を参考にして、安全性について監督指導を行う。

予算特別委員会 (平成24年3月7日)

柔道授業の安全対策に全力で取り組むべき

(井上ノエミ) この4月から中学校で武道教育が必修になります。墨田区の中学校でも、柔道の授業が行われています。柔道は指導が適切に行われないと危険が伴うスポーツです。実際、NHKによれば、柔道の練習中にこの28年間に114名の中学生が亡くなっています。したがって、生徒たちを事故から守るためにも、中学校における適切な柔道指導と十分な安全対策が欠かせません。墨田区柔道連盟にも協力を仰いで講師を派遣してもらうなどが必要と訴えました。

予算特別委員会 本年度予算の採決 (平成24年3月13日)

みんなの党は、すみだ北斎美術館の建設に反対し、本年度の墨田区予算案に反対しました。

(井上ノエミ) 議員の予算案に対する意見開陳本予算には、すみだ北斎美術館の建設に関わる経費が含まれているが、私たちみんなの党は、北斎美術館の建設に反対です。今、墨田区にとって、最も優先すべきことは美術館を建設することではなく、区民の命を守る大地震に備えることです。区民の命を守るために避難施設を整備することなど、防災対策に北斎美術館の予算を回すべきです。また、区議会でも何度も議論されているように、この北斎館の収支は赤字になる可能性が大変高いです。今、日本の多くの自治体が財政赤字で住民サービスを切り下げています。そして、財政赤字の最も大きな理由は箱物の維持管理費です。美術館、博物館、コンサートホールなどの維持管理費のために、住民の本当に必要な福祉や教育などの住民サービスが犠牲になっています。北斎館の維持管理費のために、区民が犠牲になることは決して許されるべきではありません。以上の理由から、私たちみんなの党は本予算案に反対します。

予算特別委員会 (平成24年3月6日)

子ども達の生命を守るための交通事故対策の充実の必要性先月4月23日には京都府亀岡市で通学中の児童の列に暴走車が突っ込み、10名が死傷する事故が起きています。このような事故は毎年の様に起こっており、子ども達が犠牲になっています。学校周辺での交通事故対策をしっかりと実施することが重要です。亀岡市の事故も、「いつかは起こると思っていた。」と言われています。事故が起きてからでは遅いのです。区民の皆様生命を守るために、井上ノエミ議員は、墨田区の交通事故対策を充実する必要性を訴えました。

(井上ノエミ) 先日、お隣の江東区を車で走ったが、路地裏の小さな交差点のほとんどもカーブミラーが設置してあって、衝突事故を防ぐ対策が取られている。しかし、墨田区内にはほとんどカーブミラーが見当たらないが、区内にはいくつあるのか。信号のない交差点での事故が多いので、交差点での対策をとる必要があるが、来年度は何箇所の交差点で対策をする予定か。

(墨田区答弁) 区内には、471本のカーブミラーが設置されている。地元警察から要望があった場合に設置をしている。スクールゾーンや主要な交差点においては、道路のカラー塗装化や車道の幅を狭めることも、警察と協議して実施している。23年度は、小学校等からの要望により9箇所の整備を行った。引き続き整備を実施したい。

(井上ノエミ) 私の近所の外出小学校の北側道路でも、ときどき交通事故が起こっている。また、東側の道路の入り口に学童通学路と書いてあるが、ほとんどのドライバーは気がついていない。小学校の北側には児童館もある。学校の周りの交通事故対策はたいへん大事だが、スクールゾーンの交通事故対策はどのようなことをしているか。また、学校周辺の道路の車線を引きなおしたり、車がスピードを落とすようにすべきである。

(墨田区答弁) スクールゾーンの事故対策については、毎年小学校のPTA、警察、教育委員会などと共に、スクールゾーン対策連絡会全体意見交換会を開催している。交通安全対策の要望があれば、警察と協議して対応している。

予算特別委員会 (平成24年3月12日)



すみだ水族館で一緒にしたデジャン・アルゼンチン大使と大使館にて多文化共生都市スミダの実現を目指しましょう！！

(井上ノエミ) 墨田区には多くの外国人が住んでいます。そして、様々な国の人々が住む多文化共生都市を目指しています。多文化共生で一番大事なことは、コミュニケーションです。多くの誤解は、外国人が日本の社会のシステムや規則などをよく知らないことから起こります。そのためには、外国人に対する情報の提供を増やしていく必要があります。残念ながら、墨田区では、外国語による情報提供はたいへん少ないです。区のお知らせも日本語しかありません。予算をかけないようにして、コピーでもいいですから、中国語、韓国語などの多言語で、区の情報を提供するようにすべきです。また、区役所内に、多文化共生コーナーを作ってはどうでしょうか。**(山崎区長)** 区としては、そのような点に関しては、今後は是非充実していきたい。また、区役所1階の区政情報コーナー等も利用して外国人に情報を提供できるよう体制を作ることも検討したい。